

**第 12 期第 3 四半期業績のご報告**  
 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

平成 20 年 5 月 吉日  
 日本システムバンク株式会社  
 代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期における当社を取り巻く環境は、原材料高や株式市場の低迷など、予断を許さない状況が続いています。又、道路交通法改正による特需も収束を示すと共に、都心部での地価高騰の影響による賃料コスト増大など引き続き厳しい環境下に置かれております。

このような環境の中、当社は、首都圏、関西圏を中心に積極的な営業展開を実施致しました。CPシステム運営事業(CPとはコインパーキングの略称)においてはプロジェクトチームを発足し、専任メンバーによる戦略的分析と多角的対策を講じる体制を構築、既存CPの稼働率向上に努めました。その結果、売上高 894,715 千円(前年同期比 136.3%)と大きく伸長致しました。

又、東京都中央区日本橋の土地付コインパーキング販売もあいまって、CPシステム運営事業は好調に推移致しました。

CPシステム販売管理事業においては、パーキングに興味関心を持つオーナー及びパーキング運営事業者に対し、勉強会をはじめとする積極的な営業を実施致しました。しかしながら、都心部における地価高騰や市況環境の激変に伴い、新規のCP開設に慎重になる傾向が顕著となりました。その結果、売上高 474,036 千円(前年同期比 89.6%)の推移となりました。

プロパティマネジメント事業に関しては順調に伸長し、売上高 93,979 千円(前年同期比 109.8%)の結果となりました。

以上の結果、第 3 四半期の売上高は 1,470,806 千円(前年同期比 113.7%)と大きく伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	894,715 千円	136.3%
CPシステム販売管理事業	474,036 千円	89.6%
プロパティマネジメント事業	93,979 千円	109.8%
その他	8,075 千円	34.9%

来期(第 13 期)より売上高が計上される、分譲マンション事業に関して報告申し上げます。2007 年 6 月に着工致しました「タワーグランデ CHA」(福井市開発四丁目、15 階、75 戸)は順調に建設工事が進んでおります。2008 年 5 月 17 日には棟内モデルルーム 2 戸を開設し、販売促進に一層傾注して参ります。

又、2008年2月着工の、2棟目「幸橋グランデCHA」(福井市中央一丁目、12階、29戸)及び3棟目「エリアス」(福井市中央三丁目、14階、75戸)に関しても順調に建設工事が進んでおります。今後につきましては、顧客の早期囲い込み及び戦略的な営業活動に更に注力して参ります。